

平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	大阪大学		
プログラム名称	生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養		
プログラム責任者	金田 安史	プログラムコーディネーター	森井 英一

【採択理由】

大阪大学の医歯薬生命系の研究科、微生物病研究所、免疫学フロンティアセンターなどは、国際的に卓越した研究成果を多くの領域で上げている。とりわけ免疫学、感染症学、難病研究などの領域における研究業績は世界水準から見ても第一級のものである。本プログラムは、この研究業績を基盤として、「研究実践力」とその研究成果を社会応用するための「社会実装力」の両方を兼ね備えた「知のプロフェッショナル」の育成を目標とし、研究成果の実装により日本のみならず広く世界に貢献することを狙いとしており、十分卓越性の高いプログラムである。

人材育成上の課題や目標の設定が明確であり、加えて目標達成の検証方法が良く考えられている。学長の強いリーダーシップの下での大学院改革が進行中であり、本プログラムを実現する堅固なマネジメント体制が構築されている。その改革プロセスの先鞭をつけるものとして本プログラムが位置付けられている点も評価できる。

本プログラムとして学生ばかりではなく雇用する若手教員に対しても社会実装教育を行い、さらに大学全体でもFDとして社会実装教育に取り組むことが予定されている点も高く評価できる。外部機関の多様なリソースの活用方策も充実しており、プログラムの継続性・発展性を高めている。国際共創大学院学位プログラム推進機構が立ち上がり、教育システムのデザインも一貫したものになることが期待できる。学内の4研究科と研究所、加えて学外の研究機関や企業との連携が緊密であり、目的達成への大きな力となっている。

意図された高邁な目標を実現するためには、社会実装のコアコンセプトや社会実装教育のカリキュラムについて更に練り上げていく必要があると考える。より具体的でかつ従来にない斬新な教育プログラムが構築されることを期待する。